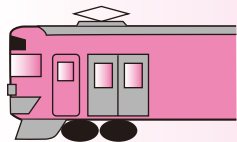


# 上井草駅周辺地区

## (下石神井四丁目)

# 第5号

## まちづくりニュース



平成25年3月

【発行元】上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会

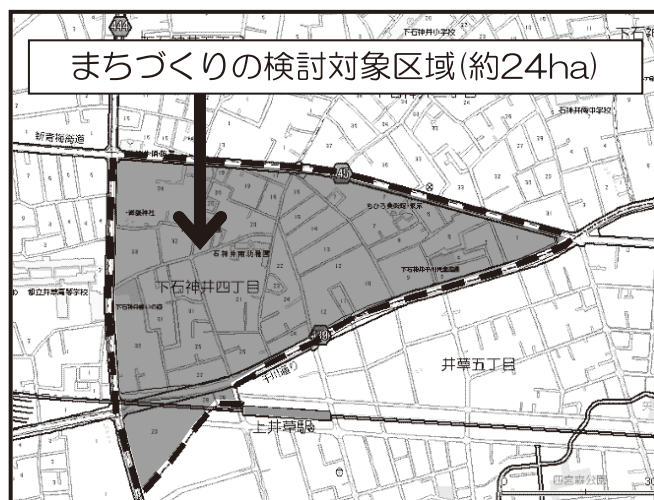
## ～ 協議会から「まちづくり提言書」を 練馬区に提出しました！！ ～

平成25年3月26日、上井草駅周辺（下石神井四丁目）の町会や商店会の代表ならびに公募区民などで構成される上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会では、「上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり提言書」を練馬区に提出しました。

この「提言書」は、平成23年5月の協議会発足以来、2年間近くにわたって当地区のまちづくりについて検討を重ねた結果をまとめ、更に今年の2月には、協議会で話し合ってきた検討結果を地域の皆様を知っていただくために、まちづくり提言書（案）についての説明会を開催して地域の皆様からご意見を伺い、最終的な提言書のとりまとめの参考にさせていただきました。

今後は、提言書を基に練馬区の計画として「まちづくり構想」を策定する予定で、策定にあたっては、練馬区が住民説明会などを開催し、地域の皆様からのご意見を聴きながらとりまとめられていきます。

今後も、地域の皆様のご意見を伺う場面が設けられておりますので、よりよいまちづくりの実現に向け、積極的にご参加いただきますようお願い致します。



【提言書を提出した時の様子】



# ～まちづくり提言書の概要～

## ◎まちの将来像

武蔵野の面影を残す豊かで美しい緑に囲まれ、  
住宅街としての住環境が整備された、  
買物や通勤、子育てにも便利な、人に優しく暮らしやすいまち

## ◎テーマ別のまちづくり構想

### 「駅や駅周辺のまちづくり」についての維持・改善の方針

- ①緊急的な安全対策と即効的な利便性向上として、上下線ホームの横断施設の整備や踏切システムの改良等を求める。
- ②鉄道による南北分断等を総合的に解消するため、西武新宿線連続立体交差事業の早期実施を求める。
- ③バスやタクシーに乗換えやすい駅前空間の整備と駅周辺の面的なバリアフリー化を進めて、誰もが快適に移動できるよう求める。
- ④駅周辺の整備にあわせて利用しやすい駐輪場を整備し、練馬区と杉並区の拠点地区間で乗降できるレンタサイクルシステム導入の検討を求める。
- ⑤駅施設等の整備の際には、誰もが快適に利用できる施設とし、周囲の街並みと調和したデザインとするよう地域住民や利用者の意見を聴くことを求める。



【上井草駅前踏切】

### 「道路・交通」についての維持・改善の方針

- ①井草高校通り（※）と千川通りのクランク交差点では、交差点改良されるまでの間、特に朝夕の渋滞時を中心に適切な交通整理・誘導が望まれる。
- ②狭い道路は建替え等に合わせて幅員4m以上に改善し、隅切り整備にも協力して見通しを確保する。また、道路内に残る段差や側溝・縁石等を無くして、誰もが移動しやすい道路とする。
- ③主要生活道路は、建替え時に沿道住民の協力のもと幅員6mを原則とした拡幅を目指し、歩行空間（カラー表示等）を創出する。曲がれない鋭角な交差点も同様に改善する。これにより、緊急車両の通行や消防活動を可能にして地区の防災機能を高める。
- ④私道の公道化促進を、地区をあげて取り組んでいく。
- ⑤住宅地の道路における無電柱化の実現を目指す。
- ⑥東京外かく環状道路や地区周辺の幹線道路等の整備を進めるとともに、地区外周の都市計画道路の交差点では右折レーン設置等の改良により、渋滞を解消して地区内への通過交通の流入を抑制するよう求める。
- ⑦主要生活道路や特に通過交通の流入が多い路線では、自動車利用も考慮しながら広く周辺住民の協力を求めて交通規制等を検討する。
- ⑧鉄道立体化に伴う幹線道路の整備や交差点の改良では、交通量等交通環境とその効果や影響について調査を行い、地域への十分な説明を行うとともに適切な環境対策を実施するよう求める。
- ⑨地区内および周辺における大型店舗出店の影響を検討する。
- ⑩バスルートの見直しやダイヤの延長などにより、バス利用の利便性向上を図るよう求める。



【西武線踏切とクランク交差点】

### 「みどり・水・地域の資源」についての維持・改善の方針

- ①地区内のまとまった用地を取得して公園・緑地とし、豊かなみどりを創出・育成するよう求める。
- ②屋上緑化や壁面緑化、ブロック塀等を生垣や緑化フェンスにするよう努めて、積極的に敷地内の緑化を進めていく。
- ③環境対策として、千川通りの豊かなみどり（街路樹や植栽帯）の適切な維持・管理やさらなる充実とともに、ゴミが捨てられにくい植栽帯の幅や位置、樹種とその統一について、地域住民の意向も踏まえて再検討するよう求める。
- ④井草高校通り（※）および新青梅街道は、街路樹等の道路内緑化が乏しいため、今後の道路整備等にあわせて緑化を充実させるよう求める。
- ⑤かつての千川上水を記憶にとどめるような「碑」や、「流れ」をイメージできるような施設の整備を求める。
- ⑥公園等を活用した「水」に触れ合える施設等を整備し、住民の協力とともに地区のシンボルとするよう求める。
- ⑦地区内のみどり、公園、歴史資源、産業等の拠点・資源等を連携させた地域の活性化を図る。あわせてこれらの地域資源の知名度の維持・向上・PRにも努める。



【あざみ児童遊園】

### 「商業環境と暮らし（アメニティ）」についての維持・改善の方針

- ①地域の資源を活用したにぎわいのあるまちづくりを進め、地域を活性化する。
- ②安心してゆっくりと買い物ができる、商店街の空間をつくる。
- ③周辺住民の合意も得て、車の走らない安全で安心な商店街の交通環境をつくる。
- ④商店街のユニバーサルデザイン化を進め、誰もが安心して買い物ができる環境をつくる。
- ⑤障害者用トイレなどの利便施設を増やして、誰もが利用しやすい商店街を目指す。
- ⑥駅周辺に託児所や老人福祉施設を整備・充実させるよう求める。
- ⑦地域住民の交流施設等、地域の人々の暮らしを支える施設（公園、図書館、スポーツ施設など）の利用や行政サービス授受など生活利便性上の不利益を解消するよう求める。



【下石神井商店街】

### 「災害に強いまちづくり」についての維持・改善の方針

- ①鉄道立体化にあわせた整備等の際に千川通りを緊急輸送道路として位置づけ、沿道建物の耐震化を促進する。
- ②道路に沿ったブロック塀等を、生垣や緑化フェンスにして震災時の倒壊を防止する。
- ③住宅地における道路においても無電柱化の実現に努め、災害に強いまちを目指す。
- ④飲料水として地区内の公園等に防災井戸等設置の検討を求めるとともに、生活用水としてミニ防災井戸の指定を地区で推進していく。
- ⑤防火貯水槽の設置には、地区で協力して整備する。
- ⑥地区内に災害時対応トイレを確保するとともに、防災関連施設や設備の充実・適正配置を図りつつ日頃から防災意識を高めて情報を収集して備えておく。
- ⑦「自助」、「共助」、「公助」による災害対策を推進し、地区の防災力を高める。
- ⑧住環境や防災面に影響するような敷地の細分化を防止する一方で、若い世代や子育て世代が移り住みやすい価格帯の住宅や集合住宅などを増やし地域の活性化を図る。



【阪神・淡路大震災での例】

※都市計画道路補助132号線の名称について : 都市計画道路補助132号線は練馬区、杉並区、東京都ともに通称が定まっていますが、本提言書の中に限って「井草高校通り」と表記しています。



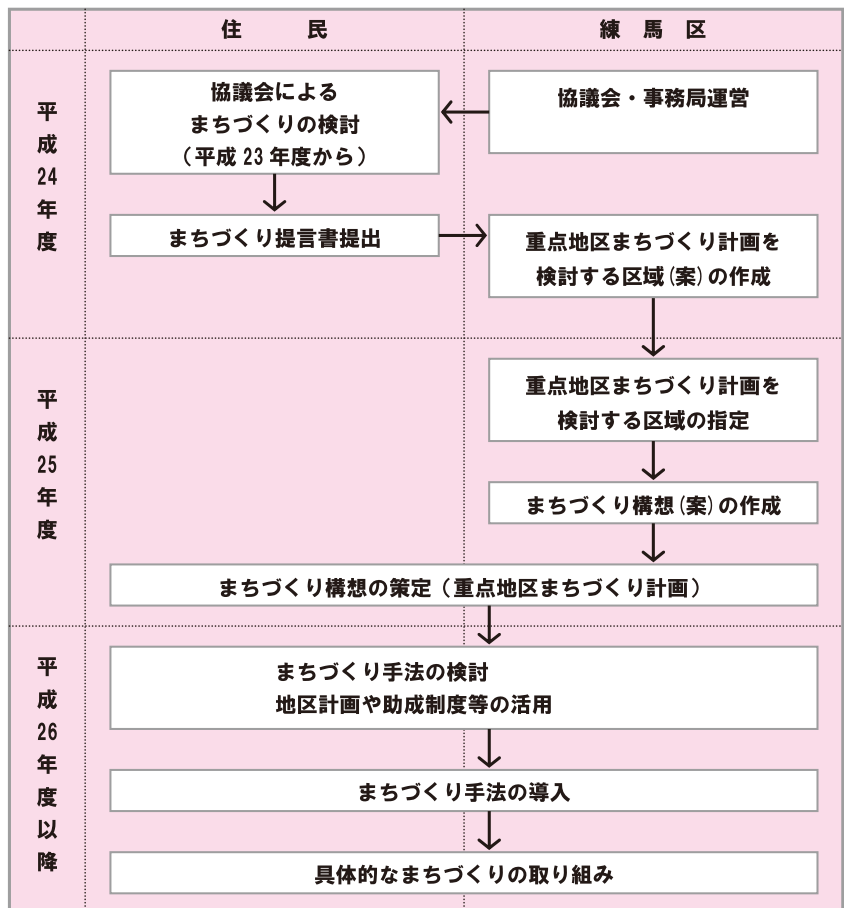
## ◎今後のまちづくりの進め方

練馬区では、提言書を基にまちづくりの検討区域を定め、まちづくり構想（重点地区まちづくり計画）を策定するものと聞いています。

提言書の提出は一つの節目ではありますが、これからが当地区のまちづくりのスタートと考えます。

より良いまちづくりの実現には、行政や事業者だけでなく、私たち住民が主体となって継続してまちづくりを推進していくことが必要です。

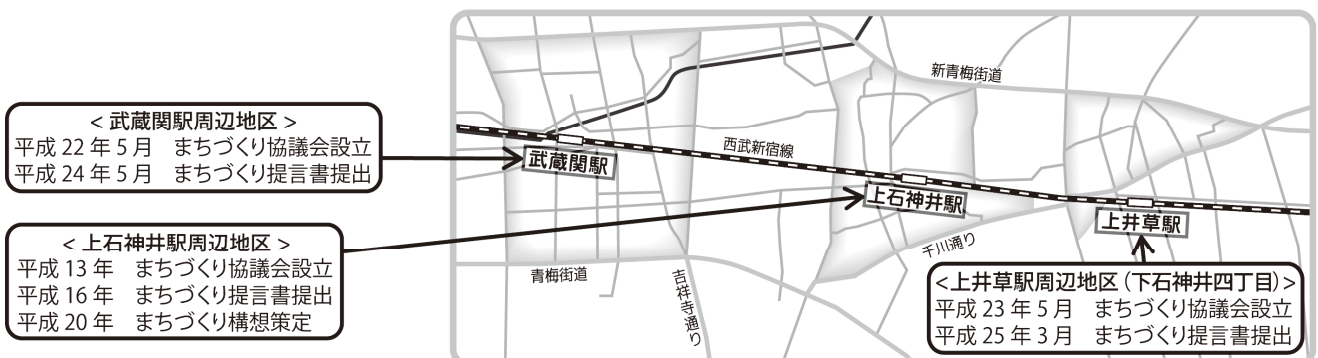
協議会では、今後とも地域の皆様のご協力をいただきながら、そして西武新宿線沿線の各駅周辺のまちづくり協議会とも連携を図りながら、安心して末永く住み続けられるまちを作っていくよう取り組んでいきます。



### ★西武新宿線沿線3駅でのまちづくりの取り組みの紹介（練馬区より）★

練馬区では、上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）、上石神井駅周辺地区、武蔵関駅周辺地区の西武新宿線3駅周辺地区において、西武新宿線の立体化を見据えた駅周辺のまちづくりの検討を進めています。

下記のように、3地区のまちづくり協議会から練馬区に対してそれぞれのまちづくり提言書が提出され、今後はお互いに連携しながら西武新宿線沿線のまちづくりを進めていく予定です。



### 協議会やまちづくりに関する問い合わせ先【協議会事務局】

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 西部地域まちづくり課  
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1  
電話 03-5984-1278（直通） 担当：渡邊・山口・木村